

# 乗用型トラクタの安全キャブ・フレームの死亡事故抑止効果

農作業安全を目的として農業者アンケートを実施しました。その結果、乗用型トラクタの安全キャブ、安全フレームには、転落・転倒事故における死亡事故を1/8程度に抑止する効果が認められました。この調査結果は、農作業死亡事故低減を目的とした安全キャブ・フレームの普及推進に活かされています。

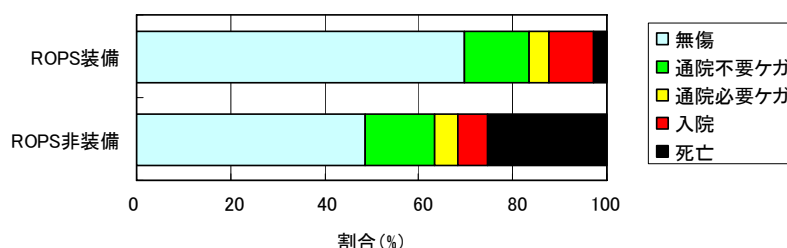
## ☆ 技術の概要

1. 平成 17 年度に、全国 26 道府県にアンケート調査を実施し、1428 戸から回答を得ました。調査内容は、過去の事故事例での事故状況、ケガの程度および ROPS (安全キャブ・フレーム (図 1) などの転倒時保護構造) の有無、回答者における ROPS ならびにシートベルトの普及・使用状況です。調査範囲は、回答者本人、家族および親戚等です。



図 1 安全キャブ

2. 過去の事故事例の累計では、転落・転倒事故が事故件数の 72%、死亡事故数でも 68% を占め、転落・転倒事故対策が重要であることが明らかになりました。
3. 乗トラの転落・転倒事故では、ROPS の有無により、死亡事故に至る割合に明確な差があります。すなわち ROPS 非装着機では 25%、装着機では 3% であり、ROPS には転落・転倒事故における死亡事故を 1/8 程度に抑止する高い効果が認められます (図 2)。



4. ROPS の装着率は、回答者所有機において 69% であり、未装着機に対し装着を推進する必要があります。

図 2 転落・転倒事故における ROPS の有無によるケガの程度の差異

5. シートベルトは、回答者所有機の 51% に装備されているものの回答者の 55% は「全く使用しない」と回答しています。シートベルトは、事故時に ROPS の提供する防護域内に運転者を留めるものですから、ROPS 装着機での死亡事故を抑止する上で、使用促進が必要です。

## ☆ 活用面での留意点

1. この情報は生物系特定産業技術研究支援センターの研究成果であり、現在、『農作業安全情報センター』 (<http://brain.naro.affrc.go.jp/anzenweb/>) に、本成果に基づいて ROPS 装着とシートベルトの使用を呼びかける記事および調査報告書全文等の関連情報を掲載するとともに、未装着機について ROPS を取り付けることが可能かどうかを調べることができるデータベースを公開しております。
2. ROPS の有効性を高めるためには、併せてシートベルトの使用を推進する必要があります。

(中央農業総合研究センター 研究管理監 谷脇 憲)